

## 第 2 回景観審議会の意見及びその後の経過について

No	項目	意見	経過等
1	区民による景観資源の選定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画に定める景観資源は区民提案型で追加していけるよう検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称) 大田景観賞を創設し、広く区民からお気に入りの景観等を募集し、展示・発表するとともに、表彰することにより景観への関心を高め、より一層の、区民参加、区民提案の進展に努めていきます。</li> </ul>
2	景観に関する情報の周知について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の方々を巻き込むような施策も必要。18 地区マップを各出張所に掲示するなど区民に良く見てもらえるように、広報活動を行ってほしい。</li> <li>・18 出張所ごとの緑づくりとの連携を図ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区ホームページの各出張所のページに「まちのみどりの図」と一緒に「景観マップ」を掲載し、閲覧できるようにしました。今後は、建築物マップを掲載する予定です。</li> </ul>
3	景観教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の世代に対する景観教育など、景観への興味を喚起するための工夫を考えてほしい。</li> <li>・小・中学校と協力しながら進めていくことを検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大森第六中学校から、授業の一環として「景観まちづくり」について、一年生 6 名からヒアリング調査があり、後日詳細なレポートをいただきました。そのような機会を捉えながら、景観教育へつながる試みを検討していきます。</li> <li>・教育委員会主催で、「風景が呼び込む未来への想い」をテーマにおおた区民大学「地域学講座」が開催され、洗足池周辺にまつわる思い出や記録、関心と今の風景を重ね合わせによる地域の変遷を探り、大切にしたい風景、多くの人を魅了する景観を様々な角度からの検討を行いました。講座には 30 名の募集に対して、60 名程度の参加があり盛況だったとのこと。</li> </ul>
4	高さ制限の制度導入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討内容について、折を見て、景観審議会に報告してもらい、意見を聞きながら検討してほしい。</li> <li>・高さ制限の制度導入についても、景観と関連があるので、報告してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ制限に関する第 1 次素案（別添資料）を用いて、現時点での内容をご説明します。</li> </ul>